

埼玉県北本市の地域公共交通総合連携計画策定について

策定調査

概況

- 本市は、面積が19.84km²とコンパクトな市街地形成であり、埼玉県のほぼ中央で都心から約45kmに位置している。
- 鉄道はJR高崎線が上野駅まで結ばれており、さらに、平成13年12月には湘南新宿ラインが開通し、新宿、横浜、小田原まで結ばれている。
- 道路は、中山道や国道17号バイパスが南北に通っている。また、現在、市南部に首都圏中央連絡自動車道の整備も進められている。
- バスは、本市で運行しているコミュニティバス等はなく、民間事業者が運行する駅を発着する路線が3路線、南北を縦断する路線が1路線の合計4路線が運行している。その他、隣の鴻巣市の運行するコミュニティバスが2路線北本駅に乗り入れをしている。



課題

交通空白地域の問題

本市は、比較的路線バスが充実しているが、バス路線から外れた地域においては、交通空白・不便地域が存在し、高齢者等の交通弱者の足の確保が、急務である。



高齢化社会への対応

本市の平成21年1月1日現在の高齢化率は19.82%であるが、30%~40%の地域も存在し、今後より一層高齢化が進展することが予想され、バス交通等の交通手段が必要不可欠である。



活性化の目標・方向性

本市で問題となっている、交通空白地域の問題、急速に進んでいる高齢化社会への対応に関する問題等について、生活交通の現状と課題を把握するとともに、生活交通に係る住民ニーズ等を把握するため、デマンド交通によるテスト運行を3ヶ月間実施し、主な対象者、運行時間帯、料金設定等について、本市の実情に合った運行方法の調査、検討を行う。

これらの調査、検討結果を踏まえ、ずっと暮らし続けたいと思えるようなまちづくりを推進するため、行政、バス事業者、タクシー事業者、市民等で連携を図り、本市における生活交通のあり方とその推進方策について北本市地域公共交通活性化協議会で協議し、北本市地域公共交通総合連携計画を策定する。

実施する事業の内容

○市内現状分析

市内公共交通の現状の整理、市内公共交通に関する市民ニーズの把握、課題の抽出等を実施する。

○デマンド運行準備

運行事業者の選定、テスト運行計画の策定、デマンド交通システム整備、利用者説明会、運行者説明会の実施、効率的な広報活動を実施するための広報計画策定等を実施する。

○テスト運行実施

デマンド運行について、利用者、運行時間帯、料金設定等が本市で運行する場合にどのような設定にするのが最善であるかを調査するため、デマンド運行によるテスト運行を3ヶ月間実施する。

○テスト運行評価

テスト運行に関しての利用者アンケート、市民アンケートの実施及びテスト運行事業者等へのヒアリングを実施し、その結果等について取りまとめを行い、テスト運行に関する評価を実施する。

○運行手法の比較検討

デマンド形式による運行、路線形式による運行の比較検討を行い、本市にあった運行方法の設定を行う。

○地域公共交通総合連携計画策定

テスト運行等の調査結果を踏まえ、パブリック・コメントを実施し、北本市地域公共交通総合連携計画を策定する。また、次年度実施する実証運行計画の策定や効率的な広報計画を策定する。